

中央本部 第1回組織対策会議を開催！

本部オルグの実施を確認

中央本部は、9月10日(水)、西阪急ビル地下会議室において「第1回組織対策会議」を開催し、各地本総支部の副執行委員長、書記長、組織部長など総勢23名が出席し、現在のJR西労組の組織状況の共有、出向組合員に対する取り組み、女性組合員の参画と女性役員の育成、社会人採用者の組織拡大による組織の充実強化の取り組みや、今後のJR北労組や貨物鉄道への支援など、様々な課題に対して議論を行った。

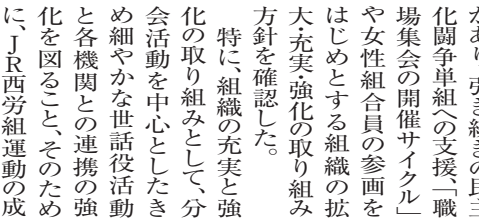
冒頭、中央本部を代表して羽野執行委員長から、25年度新規採用の組織化、社会人採用カムバック採用者の組織化に対する感謝を述べ、万博輸送を含めた輸送概況、広島新駅「ミナモト」の開業、昨年の大会以降の組織脱退事象、今後の女性役員の育成、終盤戦へとさしかかった労働協約改訂交渉などについて挨拶を行った。

議事では、大川組織部長から、他労組の情勢とJR連合民主化闘争支援について報告があり、引き続きの民主化闘争単組への支援、「職場集会の開催サイクル」や女性組合員の参画をはじめとする組織の拡大充実強化の取り組み方針を確認した。

特に、組織の充実と強化の取り組みとして、分会活動を中心としたきめ細やかな世話役活動と各機関との連携の強化を図ること、そのため、JR西労組運動の成



組織対策会議



第1回情宣委員会
各級機関紙年2回の発行を要請

今年度も、JR西労組運動「ロシ」は実を結ぶ、「女性役員ひとなき」の各地本総支部の年間割り当てを確認し、寄せられた記事を積極的に掲載することで、各級機関の組合員・女性組合員が、JR西労組運動をより身近なものにすることを確認した。

また、支部分会での機関紙の発行を要請するとともに、今年度も機関紙コンクールを開催することとした。

そして、JR西労組の情勢を速報するツールとなっているJR西労組LINEについて、今年度は10,000名を目標数に設定し、目標達成に向けて登録促進を図ることを要請した。

情宣・教育・文化レク委員会

中央本部は、9月10日(水)に、西阪急ビル地下会議室において、「第1回情宣委員会」「第1回教育委員会」「第1回文化レク活動委員会」を開催した。各地本総支部から、副執行委員長、書記長や各担当部長等25名が出席し、経過と向こう1年間の活動方針について議論を行った。冒頭、中央本部を代表して羽野執行委員長から、安全の確立に向けたABC運動の浸透、情宣教育レク活動を通じた運動の「見える化」、第1四半期決算の概要、労働協約改訂交渉などについて挨拶を行った。

果や取り組みの迅速な周知・伝達を推進していくため、各地本総支部とともに本部オルグを実施することを確認した。

その他、2025年度新規採用者と社会人採用者、カムバック採用者の組織化、他労組からの組織拡大の取り組み、シニアリーダー組合員の継続加入、出向組合員に対するフォロー、女性組合員の活動への参画と女性役員の育成、関係部門の活動の充実、

青年女性委員会の取り組みについて、今年度の取り組み方針を確認した。

各地本総支部からは、他労組動向の報告とともに、各地本総支部の取り組み目標が報告され、向こう1年間の方針を確認した。



羽野中央執行委員長からは安全労働協約改訂交渉等の挨拶があった

のするところを確認した。

また、支部分会での機関紙の発行を要請するとともに、今年度も機関紙コンクールを開催することとした。

そして、JR西労組の情勢を速報するツールとなっているJR西労組LINEについて、今年度は10,000名を目標数に設定し、目標達成に向けて登録促進を図ることを要請した。

第1回文化・レク活動委員会

シニア組合員女性組合員の参画しやすい活動へ



各委員会で座長を務めた川原中央副執行委員長

組合員が参画しやすい活動を進めることを確認した。

文化・文芸作品コンクールについて、引き続き、写真部門、川柳・標語部門と、その他作品部門にポストタープラカードショートのムービー・4コマまんがの募集を行うことを確認した。

レクリエーション活動について、それぞれの委員会において、各地本総支部の担当役員から積極的な発言質疑があり、向こう1年間の方針に更なる肉づけがされた。JR西労組運動の柱である企画提案運動を推進し、更なる組織の充実と強化を図るため、様々な知恵と工夫を出し合い、運動を進めていく。

みんなが働きやすい職場を目指して

大阪では、2025年4月13日から10月13日までの6ヶ月間、大阪夢洲で大阪・関西万博が開催されています。大阪での万博は1970年以来55年ぶりであり、会場では、常設パビリオンに加え多彩なイベントが行われ、ブルーインパールの展示飛行には約17万人が来場しました。

JR西日本も輸送の「翼を担い、大阪支部の12分会は、車両・電気機械・駅運輸車掌運輸の各区分が通常業務をこなしながら、組合員一丸となって、この特別な輸送を安全に支えています。

大阪支部は、現場に最も近い組織として、組合員一人ひとりの声を受け止め、働きやすい職場づくりを目指しています。

その一環として、年2回、各職場から代表者を集め、課題を共有し改善策を話し合う会議を開催しています。

ここでは、坪支部執行委員長



坪支部執行委員長



家族レクでは、みんな大好き海遊館へ

いる」という実感につながります。こうした対話の積み重ねは、安心して働ける環境を守り、互いに支え合う組織づくりに直結しています。

第1回教育委員会

国鉄を超えたJRの歴史を学ぼう

昨年度の中央本部主催「ユニオンカレッジ」は、役員実践コース、「女性役員コース」、

さらに大阪支部は、仲間が安心して働き、楽しく交流できる場を大切にしています。その象徴が毎年の「家族レクリエーション」です。役員が協力して準備するこの行事は、家族と共に過ごす時間を通して、仲間との絆を深め、日頃支えてくださっている「家族」の感謝を伝える良い機会でもあります。

これからも笑顔と絆にあふれる「ひととき」を築き続けて参ります。

（大阪地本発）



の「役員実践コース」、「青年女性委員会リーダーコース」、「安全衛生委員会実践コース」、特設「新任専従者コース」の開催を確認した。

また、中央本部と共催のスクールとして、「新入組合員半年後研修」、「LM層役員研修」、「役員基礎コース」、「分会執行委員長研修」の開催と、各地本総支部主体で行う「ユニオンスクール」の教育をしっかりと行うことを要請した。

一方で、出向者や休職者に対する激励行動、委員長の特別講義などを聴講することは有益であることから、各級機関教育担当者で連携を図り、掲載することを要請した。

ながら検討していくことを確認した。

また、2020年よりJR西労組HPにて、FPCオンライン研修システムの導入してきたが、契約終了にともない2025年8月31日で終了した。

総合生活サポートガイドブックについては、引き続き閲覧できることから、各地本総支部で実施する研修等での活用併せて多くの組合員に周知されるようコース等に掲載することを要請した。

